

家畜の飼養衛生管理状況に関する

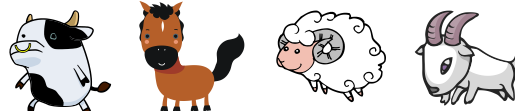
定期報告書の提出をお願いします。

家畜伝染病予防法では、家畜の伝染性疾病の発生を予防するために飼養衛生管理基準を定めています。

また、家畜の所有者は、毎年、家畜の頭羽数及び飼養に係る衛生状況に関する事項について、都道府県知事に報告することが義務づけられています。

つきましては、平成30年の定期報告を当所に提出いただきますようお願いいたします。

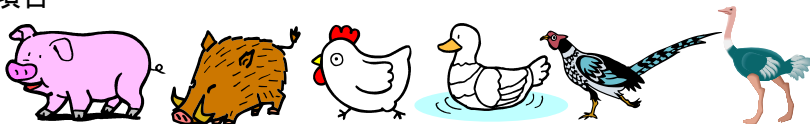
対象家畜の種類、報告事項及び期限



家畜の種類 頭羽数区分	牛・水牛・馬		めん羊・山羊・豚・いのしし		鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥		だちょう	
	2頭以上	1頭	6頭以上	6頭未満	100羽以上	100羽未満	10羽以上	10羽未満
報告事項								
家畜の種類、頭羽数	○	○	○	○	○	○	○	○
畜舎・ふ卵舎の数	○	—	○	—	○	—	○	—
基準の遵守状況	○	—	○	—	○	—	○	—
添付書類	○	—	○	—	○	—	○	—
報告期限	4月15日				6月15日			

○:報告が必要な項目、—:報告がいない項目

報告内容及び必要書類



1 基本情報

- ①所有者の氏名及び住所
- ②管理者の氏名及び住所
- ③農場の名称及び所在地
- ④家畜の種類及び頭羽数(2月1日時点の内容)
- ⑤畜舎及びふ卵舎の数

2 飼養衛生管理基準の遵守状況(チェックシート)

3 添付書類

- ①農場平面図(衛生管理区域、消毒設備の設置場所を記入)
- ②必要のない者を立入らせないための措置
- ③消毒設備の種類
- ④家畜伝染病発生時における埋却地、焼却地の準備状況(馬を除く)
- ⑤大規模農場における追加措置(担当獣医氏名及び連絡先、通報ルールの書類)

不明な点がありましたら、当所までお問い合わせ下さい。